

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	パルいずみ
2	指定管理者	社会福祉法人 緑仙会
3	指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで（5年間）
4	施設の利用状況	《利用者数》 人（前年度比 ○○%） ・令和元年度 3,373人（前年度比 93.12%） ・平成30年度 3,622人（前年度比 97.65%） ・平成29年度 3,709人（前年度比 92.82%）
		《事業》 就労移行支援、就労継続支援B型
5	収支の状況	《費用》 ・指定管理者に支払った費用 49,565千円（47,628千円） ・その他市が負担した費用 283千円（11,061千円） 《収入》 ・使用料収入 18,883千円（21,202千円） 【再掲：利用者負担額 48千円（111千円）】 ・その他収入 0千円（8,800千円）
		()は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 ・令和2年2月、指定管理者の協力のもと障害者支援課で利用者アンケートを実施し、23人/23人（100.0%）の回答を得た。施設の利用に関し、満足又は大変満足が74.8%、普通が25.2%、不満、大変不満が0.0%という回答であった。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた管理運営が適切になされている。 就労移行支援事業及び就労継続支援B型事業のサービスの提供に意欲的に取り組んでいる。 退所者に対しても、就労後の職場定着支援として、事業所訪問や電話連絡といったアフターフォローに努めている。	45/45
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間での情報共有も図られている。また、経理処理についても、経理を担当する職員を配置し書類作成などが適切に行われている。 利用者への訓練や指導の質の向上を図るため、個人情報の管理に配慮しつつ職員間での情報交換や情報共有を目的とした各種会議を開催している。また、事故や災害に備えた研修を行うとともに、マニュアルを作成し緊急時対応のための体制も適切にとられている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	建物・設備の保全や備品管理については、委託仕様書に沿った適切な管理・取り扱いがなされている。施設内の清掃は定期的に行われており、利用者が衛生的かつ快適に利用できる状態であった。 グリーン購入に関しては前年度と同様、予算範囲内で積極的に取り組んでいる。また昨年度同様、冷暖房等空調設備の省エネ運転や不要な照明の消灯などの取組みに努めた。	24/24
IV サービスの質の向上	施設職員の資質の向上や意識啓発、応対や接遇に関する研修や外部研修を取り入れる等幅広い内容で実施している。 サービス水準の確保のため、事務フローマニュアルを適切に作成している。 ホームページでの情報提供や施設のパンフレット作成等を随時見直し、適切な利用情報の提供に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	就労移行支援事業においては「就労チェックリスト」、就労継続支援B型事業においては「アセスメントシート」をそれぞれ事業所独自のものを作成し、利用者の支援に活用している。 また、工賃目標の設定、工賃向上に向けた利用者とのグループワークの実施、就労移行支援プログラムや職場開拓、工賃向上へ向けた自主製商品の商品開発や販路拡大のための営業活動等に積極的に取り組んでいる。	12/12

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人 緑仙会）による自己評価》
<p>パルいずみは、指定管理者管理業務協定書及び仕様書をもとに事業所の設置目的に基づいた適切な管理運営を実施した。また、法人の中期経営計画及び平成31年度事業計画に基づいた取組を進めた。</p> <p>就労移行支援事業に関しては、就職に向けた基礎訓練、講義、履歴書作成、事業所外では販売会における販売訓練、ATM清掃、職場見学・実習、ハローワークでの求人検索等に取り組んだ。また、個々の利用者の特性に応じた就労プログラムの充実を目的とした見直しを行い、新規のプログラム(SSTなど)の試行及び実施を進めることにより、利用者のコミュニケーション能力向上につながった。これらの取組みの結果、1名が就職し、就職先担当者との連携等を通して職場定着支援を進めた。</p> <p>就労継続支援B型事業に関しては、工賃目標を設定し達成を目指し、作業受注に向けた取組み及び自主製品の絞り込みによる効率化に取り組んだ。作業に関しては、計画的な作業提供に努めるとともに、生産性の向上や利用者の作業意欲の維持を図る工夫として、机の配置などの作業環境を整えることや、作業途中で短時間の体操を取り入れることにより、作業効率の改善が図られ、利用者から好評を得た。また、利用者の意見を取り入れるためのグループワークを継続して行ったほか、利用者の高齢化・重度化に対しては、個々の状態に応じた作業内容及び作業方法を提供し、安心して活動できるよう支援した。</p> <p>地域における取組として、仙台市及び富谷市の中学校から職場体験活動の受入れを行い、障害福祉に関する啓発を行ったほか、泉ヶ丘小学校バザーやナイスハートバザー、多賀城市市民活動サポートセンター、民間事業者との連携による販売会に参加し、事業所の周知を促進した。また、実習生受入れ等による専門職養成にも積極的に協力し、教育機関との連携を深めた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和元年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われていた。</p> <p>就労移行支援事業においては、利用者の雇用につながるよう基礎訓練及び講義等の事業所内プログラムに加え、個々の状況や希望に沿った労働条件の絞り込みを行い、職場見学及び実習等の事業所外プログラムを提供したことなどにより、30年度と比較し2割を超える利用者数の増加となったことは評価できる。</p> <p>また、就労継続支援B型においては、新たな作業受注先の獲得、自主製品の販売活動、利用者参加による日々の作業改善を図ることで、作業収入の増加に伴い工賃を30年度を上回ったことは評価できる。</p> <p>全体としては、研修の実施による職員の人材育成の取組みを積極的に行うことなどにより、就労移行支援事業所と就労継続支援B型事業所として良好なサービスに繋げているため、総合的に高く評価できる。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課